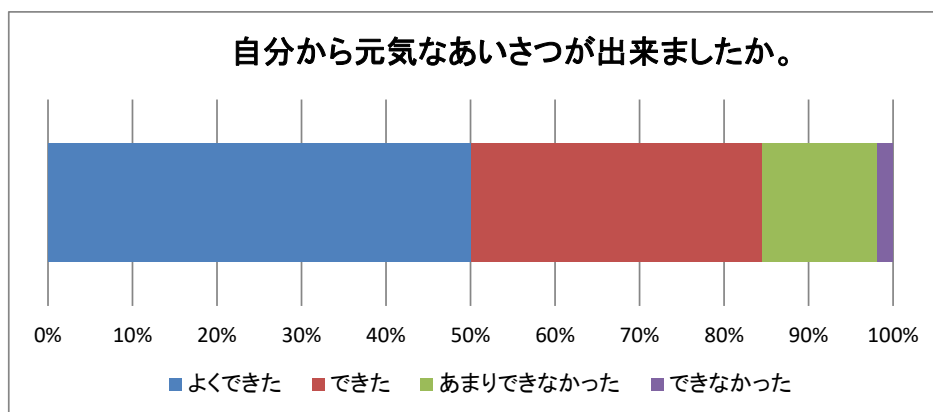


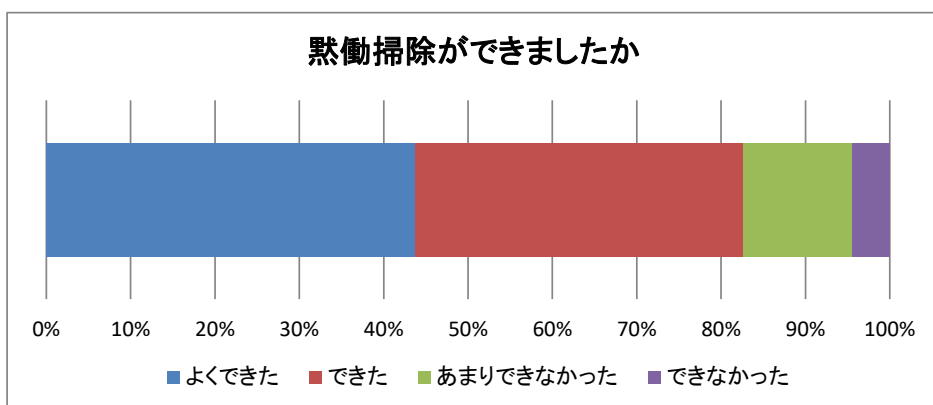
令和2年度 児童アンケート

宮若市立宮若西小学校



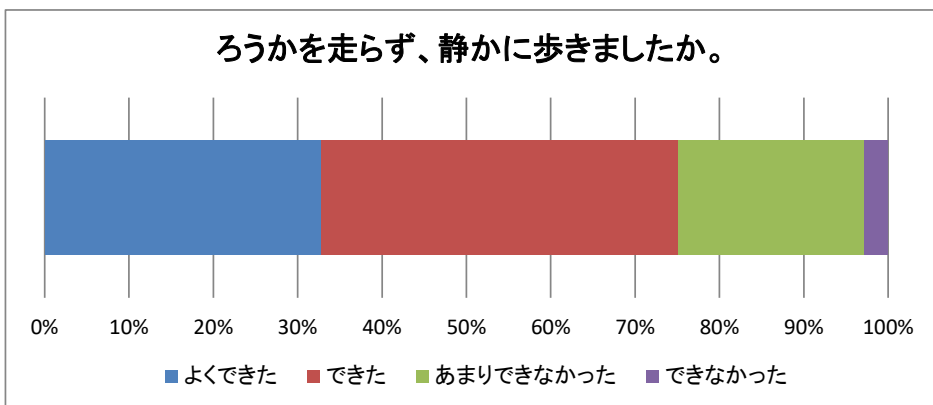
肯定 85%

「語先後礼」の言葉は、全校に浸透している。児童会・生徒会による朝の挨拶運動等で子どもたちの意識は高まり、立ち止まって挨拶する児童も増えてきている。今後も、来校者や地域の方への挨拶、校外での挨拶やTPOに応じた全体指導や個への指導が必要である。



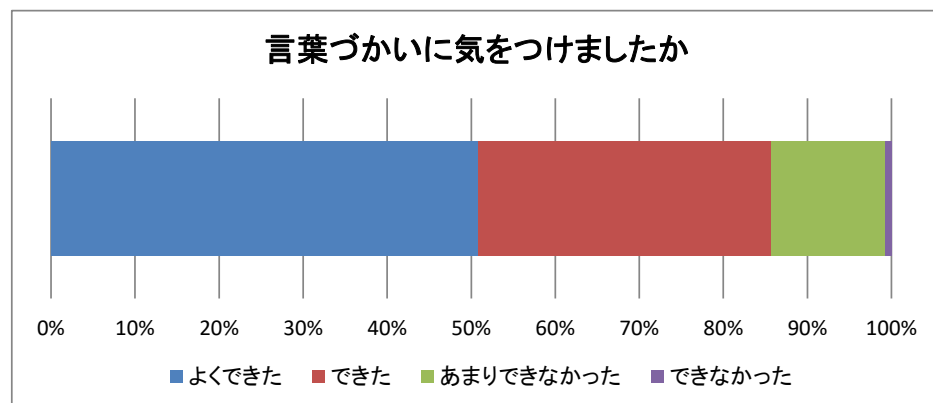
肯定 83%

黙働掃除は、環境委員会での「黙働週間」等の取組で少しずつ意識が高まってきている。83%の児童が、「よくできた」「できた」と回答しているので、あと17%の児童に掃除の仕方や目的をしっかりと理解させた上で、職員で黙働の姿を確認するなど指導を共有・徹底していく必要がある。



肯定 75%

児童会の取組や担任の指導から、静かに廊下を歩く意識が高まってきている。しかし、20%の児童が「あまりできなかった」と答えている。指導や見届けが十分にできていないことが分かる。休み時間や下校時に廊下を走る児童については、児童会と連携した取組や教員の声かけを徹底するなど今後も取組を継続して進める。



肯定 86%

言葉づかいについては、個々の児童への指導と学校全体での指導が必要である。昨年度と比較し2ポイント増であった。教師自身が模範となる言葉づかいをすることや道徳や学活での指導とともに、日常的な声かけや落ちついた学級づくり・学校づくりについて、毎月確認をし全教職員で継続的に取組を進めていく必要がある。